

『幼児クラスの運動会を終えて』

先月3日(土)の運動会にはたくさんのご家族にご来園いただきありがとうございました。終了後のアンケートからは下記のような事項が寄せられました。

- 子ども達が生き生きとした表情で楽しそうだった。
 - コロナ禍ではあったが運動会を開催していただき感謝している。親子とも思い出になった。
 - 3密を避けての保育参観形式の年齢別の3部制は入れ替わり混雑もなく、席を並んで待つことが要らず良かった。今後もこの形が良い。テントの下でゆっくり観ることができた。
 - 年長の保護者の待機場所が少し密になっていたのではホールが良かったのではないか。
 - きっすノートのタイトル名が、運動会について配信が何度かあったのが、紛らわしかったので、見返すのに困った。
- ※運動会は年齢発達の部分(乳児も含め)観覧いただけるチャンスではあると考えていましたが、3部制などについては今後の課題にしてゆきたいと思っています。コロナ対策は十分にしながら(光触媒採用式空気清浄機、オゾン発生装置の設置も少しずつ対応して)色いろな行事の時の対応をしようと思います。きっすノートの配信の工夫に心がけます。



『子育てで大切な6つのこと』著書 大豆生田啓友・千夏

- ① 親子のスキンシップや甘えなどを通して、心の安心基地を作る。
- ② 子どもの個性(その子らしさ)や主体性(自己決定)を大切にする。
- ③ こどものがんばっている姿をほめ、小さな成功体験を大切にするなど自己調整力を育てる。
- ④ 多様なあそび体験を通して、好奇心を持ったり、夢中になる経験をする。
- ⑤ 外あそびを通して、多様に体を動かしたり、自然にふれたりする経験をする。
- ⑥ 絵本の読み聞かせを通して、コミュニケーションや言葉への興味を大切にする。

講談社 『非認知能力を育てるあそびのレシピ』

0歳～5歳児のあと伸びする力を高める』より



令和2年 11月の保育園だより



『あそびの本質』 ～豊かな環境と出会うこと～

先月3日(土)、運動会を終えた幼児クラスの子供達は、保護者の皆様に観ていただき、応援していただくことで、大きな達成感と満足感を味わったようで、異年齢でも刺激し合いながら生き生きと身体を動かしてあそび様子が見られました。

運動会には参加していない2歳児が園庭のトラック(白線で描いたもの)を「よーい! ドン」と言うのと円周に沿って走ったり、年長児のリズム曲が流れると皆で踊り始めるなど異年齢で過ごす保育園ならではの姿もたくさんみられ、みる、体験する、競う、模倣するなど行事としての意味を改めて感じているところです。

31日(土)は、『アートな生活とあそび展』。行事としての作品展という枠を飛び越え、あそびの中での表現をいろいろな角度から見直してみたいと考えています。

子ども達にとっての造形活動は、色いろな材料(素材、廃材、道具など)、自然(散歩、生き物、自然物など)、生活(用具、物など)の環境との出会いを繰り返しながら感性が豊かになり、表現力の原動力になります。

表現力というと大人からの見た目です上手に作ったり、描いている作品という意味合いが強いのですが、子ども達は0歳から6歳にかけて表現の仕方はそれぞれです。

みる、ながめる、さわる、つまむ、かさねる、ころがす、つむ、こわす、だし入れする、まぜる、つける、にぎる、はこぶ、のぼりおり、からだをうごかす、ぬる、かく、いれかえる、ふれあう、な

りきるなどのあそびを通して、子ども達は出会いと体験を繰り返しながら何もないところから色いろな物を生み出し表現していききます。この表現こそがあそびであり、それぞれの子どものあそび(表現)のストーリーが新たに生まれてくるのです。

子ども達の表現は自由です。大人が制限を加えるものでもありません。誰かに迷惑をかけなければ自由に、好きな物で好きなように表現できることが一番大切です。

今回の『アートな生活とあそび展』では、子ども達のあそびの軌跡を感じていただけるよう、生活やあそびのドキュメンテーション(写真展示)が掲示されていますが、当日も現在進行形で子ども達のあそび(表現)が展開されることと思います。ご家族でも参加していただき、思う存分あそび(表現)を体験したり、あそび(表現)を共有していただき、子ども達の目線になって楽しんでいただけると幸いです。又保護者の皆様には新たな創造アートにも挑戦していただきたいと思っていますので、職員と一緒に楽しむ姿勢を見せてあげましょう。

今月は、秋深まる自然の中で新たな環境との出会いができるよう工夫しながら、引き続き子ども達のあそび(表現)が展開するよう見守り、支援していききたいと思っています。

新たな環境との出会いの深まりは、子ども達の思いを汲み、広げ、他者との関わりを意識する対話の重要性です。幼児クラスではミーティングと題してあそびや生活の振り返りをするを日課にするようにしています。

対話を重視しながらあそびの本質についてより深めていききたいと思っています。(園長 倉本弘子)



坂みみよう保育園

10月30日(金)配布

乳児保育参観

親子ふれあい運動あそびの会

乳児とその保護者を対象とした、今年度初めての保育参観・親子ふれあい運動あそびの会を下記の日程で開催いたします。親子ふれあい運動あそびの会においては、講師の阿部玲子先生をお招きしておりますので、年齢別に親子ふれあいながら身体を動かすこと、スキンシップの心地よさを感じる楽しい運動あそびを楽しみましょう。

日時: 11月14日(土曜日) 場所: 坂みみよう保育園

【0歳児】 午前9時15分～9時45分

- ・9時までに登園し2Fホールへ
- ・ベビーマッサージを含むふれあいあそび

【1歳児】 午前9時30分～10時30分

- ・9時15分までに登園し、1Fたんぼぼ組で保育参観
- ・10時～10時30分 そままま保育室で親子ふれあい運動遊びの会

【2歳児】 午前9時30分～11時

- ・9時15分までに登園し、もも組、さくら組に分かれ保育参観(おやつ)
- ・2クラス合同で運動会ごっこ(園庭)
- ・10時30分～11時

親子ふれあい運動あそびの会(2Fホール)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため坂町内に在住のご家族のみの参観とさせていただきます。(マスク着用・手洗い・手指消毒・検温)
※幼児クラス在園の兄や姉の保育希望の方は、終了まで保育を致しますので担任までお知らせください。11時過ぎに終了しますので、午後からの保育希望の方以外は、お弁当持参の必要はありません。

